

〈第5回 住民説明会に関する意見書へのご回答〉

項目	ご意見・ご質問	ご回答
事業運営・信頼性について	事業譲渡や廃棄時、根室市民の税金負担にならないための具体的準備（金融機関への質権設定等）はあるか。	本事業では、将来の撤去費用等を確実に確保するため、再エネ特措法に基づき、外部機関への「廃棄時費用積み立て」を義務として履行いたします。これにより、廃止の際も根室市民の皆様に税負担を強いることはございません。 また、金融機関との融資契約において、事業資産への質権設定等を通じた長期的な資金管理体制を構築しており、再エネ特措法のみには頼らない廃棄費用の積み立てを行い、不測の事態にも対応できる準備を整えております。
	市民全体の賛否を問う考えはあるか。説明会出席者以外の、毎日公園を散歩する市民等の声も反映すべきではないか。	私共は、本事業が根室市民の皆様のご生活環境に深く関わるものであると重く受け止めております。そのため、新聞朝刊折込チラシおよび根室市デジタルサイネージにて住民説明会および個別相談会のご案内をさせていただいております。
	問い合わせ用メールアドレスが複数あり混乱している。2025年12月4日23時57分に送ったメールへの返信がないのはなぜか。	第3回住民説明会以降にお知らせしております「info@yenergy.co.jp」にご連絡いただければと存じます。ご指摘の日時のメールを精査いたしましたが、現在、弊社側で受信を確認できておりません。恐れ入りますが、送信先アドレスをご確認いただくか、内容を再送いただけますでしょうか。早急に事実関係を調査し、誠心誠意対応させていただきます。
	意見書記入用紙に、送信先メールアドレスを明記してほしい。	次回の住民説明会以降対応させていただきます。
	前回の意見書に個人の所感も送付したが、それについて返答がほしい。	前回の意見書にて、本事業に対する率直な思いをお寄せいただき深く感謝申し上げます。弊社では、形式を問わず皆様から届く全てのメッセージを、地域住民としての貴重な視点として全社で共有させていただいております。 個別の所感等に対し、一律の直接回答を差し上げることは叶いませんが、いただいた内容は今後の事業運営における重要な検討材料として慎重に取り扱ってまいります。
	前回の意見書（地域貢献・固定資産税等）への意見が無視されているのはなぜか。	皆様からいただいた貴重な意見を無視しているという事実はございません。地域貢献策や固定資産税等の納税については、現在、法令遵守を前提に具体的な内容や仕組みを精査・調整しており、慎重に検討を重ねているためにお時間を頂戴しております。 検討の進捗に伴い、順次皆様へご報告させていただく予定です。いただいたご意見を真摯に受け止め、事業を通じた地域への利益還元を具現化できるよう、誠実に努めてまいります。
	説明資料を事業者3人でチェックしながら、資料に責任者名を記載漏れするのはなぜか。責任感があるのか。	これまでの書類において、責任者の記載漏れや誤字脱字、記述の不整合が発生し、多大なるご不安と不信感を与えてしまいました。3名体制で確認を行っていたにもかかわらず、このような初歩的かつ重大なミスを防げなかったことを深く反省しております。今後は内部による確認に加え、法務・広報部門等の客観的な視点を持つ外部専門家を交えた、より厳格なチェック工程を導入しております。

	事業者の責任者が他責にする姿勢が見られ、信用できない。どの言葉を信じればよいのか。	失った信頼を言葉だけで取り戻すことは困難であると認識しております。今後は、口頭での説明に留まらず、議事録の公開など、客観的な事実に基づく情報開示を徹底いたします。誠実な対話と目に見える改善を積み重ねることで、少しずつでも皆様の信頼を回復できるよう、全力で取り組んでまいります。
	第3回意見書への回答書の「郵送版」と「WEB版」が異なる理由と、その修正を説明会で周知しなかった意図は何か。	資料に相違が生じたのは、説明会参加者様への郵送後に、根室市役所様より内容の修正依頼をいただいたためです。WEB版にはその最新の修正を反映いたしました。修正箇所が軽微であったことから、説明会の限られた時間内での詳細な説明は省略させていただきました。
	追加の地域貢献策を提案した際、市役所等に対し氏名を秘匿するよう求めたにもかかわらず、説明会に実名を出したのはなぜか。極めて憤慨している。	ご要望をいただいていたにもかかわらず、説明会の場でお名前を公表したことは、私共の情報管理上の不手際であり、ご不快な思いをさせたことを重く受け止めております。今後再発防止に努めてまいります。
景観・環境対策について	お墓側や[REDACTED]側からの景観について、具体的な対策はないのか。我慢を強いるつもりか。	墓地や[REDACTED]側からの景観について、地形上の制約により、フェンス等の物理的な対策のみでは視認性を低減することが困難な箇所があるのは事実です。一方的に我慢を強いるのではなく、まずはこの現状を正確にお伝えすることが不可欠であると考えております。私共としましては、関係法令等を厳守した上で、可能な限りの軽減策を講じてまいります。
	ウッドフェンスは強風や腐食に耐えられるのか。維持管理や補修はどうするのか。	フェンスは、根室特有の強風に耐えうる基礎・構造設計を徹底いたします。経年劣化や腐食への対策として、定期的な点検と必要に応じた補修・再塗装をメンテナンス計画に盛り込み、事業期間中、その品質と安全性を維持し続けます。地域の景観と安全の両立を責任を持って図ってまいります。
	土塁設置による影響や維持管理はどのように考えているか。	土塁は景観への配慮に加え、雨水の流出抑制や遮音にも寄与する設計といたします。設置にあたっては、土砂流出や崩落を防ぐ適切な斜面保護と排水対策を講じ、周辺環境への影響を最小限に留めます。維持管理については、定期的な巡回点検で法面の状況や植生を確認し、必要に応じて除草や補修を実施いたします。事業期間を通じて土塁の機能を健全に維持し、地域の安全確保に万全を期してまいります。
	稼働率20%弱で「発電効率が良い」と言える根拠は何か。	太陽光発電の設備利用率は全国平均で13～15%程度ですが、本事業では最新の高効率の両面発電パネルの採用等により20%弱を見込んでおり、相対的に高い発電効率を実現しています。
	パネルのリサイクル技術が社会的に普及するのは何年後か。	太陽光パネルの再資源化技術は、既に実用化段階にあり、排出が本格化する2030年代半ばまでには、全国的な回収ネットワークと低コストな高度処理技術が普及する見通しです。
	パネルレイアウトの変更により反射光等の影響評価に変更はないか。また説明会毎にパネルレイアウトに変更があるのはなぜか。	レイアウト変更は、説明会でのご意見や最新の設計を反映し、景観への配慮や土地利用を最適化する過程で生じるものです。変更の都度、反射光等の影響を再評価しておりますが、現計画でも住宅地への反射光被害が生じないことを確認済みです。

	施工計画書の公表、および産業廃棄物の予定数量・種目・処理場所を明らかにしてほしい。	施工計画の詳細につきましては、着工前に改めて説明の場を設け、皆様に共有させていただきます。産業廃棄物の予定数量・種目については、説明会資料に記載の通りです。太陽光パネル他の処理場所は、再資源化を中心に検討を続けてまいります。
地域貢献・対話について	市が「地域貢献策の協議への深い関与は不適切」とした3/5新聞報道があるが、今後の協議はどう進めるのか。地域貢献策について話が進んでいないのはなぜか。	根室市様の「深い関与は不適切」との方針は、行政の公平性を担保するためのものと理解しております。そのため、私共が主体となって根室市様に相談のうえ、引き続き検討を進める方針です。
	事業譲渡等を検討する場合、投資金額の5億円以上が条件となるか。	事業譲渡の条件として特定の金額を設けている事実はありません。
	市議への報告をもって「市民に知らせた」とするのは説明責任を果たしていないのではないか。	市議への報告のみで市民の皆様への説明責任が完結するとは考えておりません。住民説明会の開催や回答書の配布、WEBサイトでの情報公開など、直接皆様に情報をお届けすることを重視しております。
	パスワードを新聞折込のみに記載するのは、未購読者に対し不誠実ではないか。	根室市全域への周知を目的に、新聞朝刊折込チラシに加え、根室市デジタルサイネージにてご案内をさせていただいております。
	個別相談会ではなく、全体説明会を土日に開催できないか。	開催日時につきましては、会場の空き状況や関係各所との調整結果を総合的に判断し、私共にて決定しております。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。一方で、より多くの皆様にご参加いただく重要性も認識しております。今後は土日開催のご要望も踏まえ、日程選定の際に可能な限り検討を行ってまいります。
事業の妥当性について	規模を縮小すると採算が合わないというなら、そもそも適地ではないのではないか。	本事業は、根室市の特性である高い日照条件を最大限に活用し、クリーンエネルギーを安定供給することを目的としています。現在の計画規模は、環境負荷の低減と事業の継続性を両立させるための最適解として選定したものです。単に採算性のみを優先しているのではなく、関係法令を遵守し、将来の撤去費用確保を含めた責任ある運営を行うための適正規模と考えております。
	屋根ソーラーやソーラーカーポートから始めるべきで、原野へのソーラーパネル設定は未来のためと言えるのか。	屋根上や駐車場への設置は有効な手段ですが、脱炭素社会の実現には、まとまった電力を供給できる地上設置型も不可欠な役割を担っています。 本事業は、根室市の良好な日照条件を最大限に活用し、地域のエネルギー自給率向上に寄与するものです。関係法令を遵守し、将来の廃棄・撤去費用も確保した上で、環境負荷を最小限に抑えた持続可能なエネルギー基盤を構築することこそが、次世代への責任であると考えております。
	発電しなければ脱炭素にならないのではないか。脱炭素を目指しているのか。	脱炭素社会の実現は、本事業の目的の一つです。太陽光発電は発電時に二酸化炭素を排出しないクリーンなエネルギー源であり、化石燃料由来の電力から置き換えていくことで、地球温暖化防止に貢献いたします。

	第2回説明会の出席者にその後案内や回答を個別郵送していないのはなぜか。	第2回説明会にご出席いただいた皆様へ、個別の郵送対応が行き届いておらず、ご不安を与えてしまい申し訳ございません。私共は、情報の迅速かつ公平な公開を優先し、現在は公式WEBサイトでの資料閲覧、新聞折込等を通じた全体周知を中心に活動しております。今後は、ご要望に応じて個別郵送の検討を図り、情報の透明性を確保しながら、皆様の疑問に丁寧にお答えできるよう誠実に努めてまいります。
	合意形成が難しいのではないかという意見にどのように考えているか。貴社は市民に説明責任を果たさなければならないのではないか。	合意形成には時間を要すると認識しておりますが、対話を重ねることで一歩ずつ相互理解を深められると考えております。弊社にとって説明責任の履行は事業継続の前提であり、最優先事項です。
	何をもって撤退と判断するのか。その「明確な基準」は何か。	事業の継続・撤退については、関係法令に基づき、総合的に判断いたします。具体的には、発電設備の致命的な損傷や経済状況の著しい変化等により、長期にわたり発電・供給が困難となり、修復による事業継続が不可能と判断される場合です。撤退時には法令に従い、あらかじめ積み立てた費用を用いて速やかに設備を撤去し、土地を原状復帰させることをお約束いたします。